

自治労 ネットワーク

2013. 10. 11 発行

No. 1

自治労北海道本部女性部

女性自身が女性の声を聞きとり、向き合っていこう!!



道本部女性部第28回定期総会

2013年9月21日～22日、自治労会館で第28回道本部女性部定期総会を開き、119単組・総支部202人が参加した。主催者・来賓のあいさつの後、執行部から一般経過報告、第1号・第2号議案を提起し、

女性労働者の抱えている問題・要求を吸い上げ、要求に対する意志統一をしよう

▲2013年9月21～22日、札幌市・自治労会館5Fホールで開催。提案した議案はすべて承認され、2014年度のたたかう方針を確立した。



議案に対する質疑・応答を行った。

発言・報告

各地本・単組からの発言では、「輪番制で各単組から役員・幹事を選出しているが、女性組合員数が少なく、

子育て・介護等の事情で役員を出せないという単組があった。このような単組が今後ないよう組織強化をはかるため、女性役員の育成・執行部への配置、道本部、地本行事の出席者を固定させない取り組み

を進める」「休暇・時間外等の認識の差やその他の権利についても知らないことが多い傾向にあるため、道本部女性部職場改善実態調査の結果から、学習会を開き休暇について講演・グループトークによる検討を行う予定」との発言や各地本で工夫をこらした集会・学習会の取り組み、男女がともに担う自治労北海道計画への取り組み、オルグの取り組みなどが発言され、2日間で24本の発言があった。

まとめ

最後に、戸村女性部長から「役員の担い手不足、組合に結集する機会が少なくなってきた等の声を聞くが、何のために女性部運動をしていくのか、何のために女性部が必要なのか、女性労働者の抱えている問題、要求を吸い上げその要求に対する意志統一を行い、組織全体に反映し、解決にむけて結集した活動を進めていくこと、自

2014年度役員体制

- 部長 戸村のぞ美 (釧根地本・中標津町労連)
- 副部長 北口 幸恵 (空知地本・妹背牛町職)
- 副部長 佐藤 美香 (上川地本・名寄市職労)
- 書記長 選出中
- 書記次長 酒井 英子 (後志地本・喜茂別町職)

※選出中の役員(書記長)については、別途、道本部女性部機関会議での承認を行います。

中央本部女性部 第58回定期総会



8月24～25日、大阪府・大阪国際会議場で中央本部女性部第58回定期総会が開催された。参

2013年度道本部女性部 副部長・書記長・書記次長 退任あいさつ



「家庭と子育てと仕事も両立の経験を是非女性部へ」と誘われ、しっかりとした組合運動経験が無いなかで受けてしまった副部長でした。上川・留萌・檜山・日高・空知・渡島・後志地本には実際に総会や女性交流集会に参加させていただきました。おぼつかない挨拶や提起には申し訳なく思い、温かく受け入れてくださったみなさんに感謝です。大変だった時もあつたけれど、やっぱり仲間！みなさんの励ましや、役員の助け合いで楽しく活動させてもらいました。ありがとうございました。

副部長 原 美夏

組合経歴は長いのに勉強不足の面も多く、皆さんにご苦勞をおかけしました。4役はじめ幹事さんたちなどに恵まれて、とても楽しく充実した活動ができました。地本役員の皆さんと知り合えたことも財産となりました。

これからもどこかでお会いできるのを楽しみに。また、若い仲間たちがずっと自治労運動に関わってくれることを願いつつ…皆さんに心からお礼申し上げます。

書記長 小原 康子



2年間、沢山のことを学びました。業務との両立は本当に大変な時期もありましたが、何とか元気良く終了することができました。私自身「元気があれば何でもできる」をモットーにしていたのですが、部長をはじめとする方がたにはご迷惑をおかけしていたところもあり、再度この場をかりてお詫び申し上げます。これからは、単組での活動がメインとなりますが、足寄から戸村部長をはじめとする新体制を応援していきます。

2年間ありがとうございました。

書記次長 香川真由美



加者は全体で約240人。北海道からは戸村女性部長をはじめ、代議員として5人、傍聴9人、計15人が参加した。はじめに松澤女性部長挨拶、来賓の後、経過報告、活動の総括(案)、2014年度活動方針(案)、2014年度当面の闘争方針(案)の提起後、質疑討論で1日目を終了した。沖縄県本部からの、普天間基地など反基地闘争などの取り組み継続をは

じめ、各県本部から、職場の合理化による時間外勤務の恒常化など厳しいなかで独自要求など女性主体的に取り組むことの意義、基本組織における男女平等の取り組みの必要性、憲法改悪を許さない取り組みの強化などが報告された。2日間で合計37県本部1社保労、38人の発言と香川、宮城の総括討論があった。

議案の採決、決議文、総会宣言を採択し、松澤女性部長の団結カンパローで終了した。北海道本部からは、「職場改善実態調査」の結果をもとに、他単組との違いを学習し、問題意識を持ち、交渉した結果、権利拡大を勝ち取った単組があつた。女性セミナーによる人材育成への取り組みの結果、単組女性執行委員長が4人誕生した。選挙闘争では、北海道出身の「あいほらくみこ」の再選を勝ち取ることが大きな課題だつ

た。今後も給与削減など、自治体職員への攻撃が強まることはあきらかだ。職場環境はますます厳しい状況におかれ、とりわけ地方では地域住民の生活や雇用状況などにも大きく影響を及ぼすことになる。今後はさらに地方の住民生活のあり方と私たちの働き方を結びつけた運動展開に力を入れることを本部に要望し、合理化攻撃に屈することなくともたたかっていく決意だ」と発言をした。